

医薬品の主作用・副作用とは！？

しゅさよう
主作用



いやくひん
医薬品

ふくさよう
副作用



主作用

は、病気の治療や予防、身体しぜんちゆりよくの自然治癒力を助けてくれるなど、
好ましい働きのことです。

副作用

とは、飲んだ後にぶつぶつができたり、眠くなったりするなど、
本来の目的以外の好ましくない働きのことです。

！ 医薬品を使う前に**説明書**を必ず読もう！

説明書は、医薬品の箱の中に入っているか、医薬品の容器に直接貼はってあります。
主作用や副作用の他にも、医薬品を 飲む回数、飲む時間、飲む量、その他注意することなど、大切なことがたくさん書かれています。説明書は医薬品を**使う前に必ず**
読み、使い終わるまで医薬品と一緒に保管しておきましょう。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 — 保健室に薬剤師が来ます 》
おくすりナビの内容、医薬品や健康、薬物乱用など
について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
コロナ禍が落ち着くまで、当面開催を見合わせます。

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳賀津夫(薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 小坂航太、瀬戸和志

